

令和3年3月22日

報道機関 各位

国境を越えた地域医療支援事業に関する協定締結式の開催について

提出（発表）日	令和3年3月22日
担当部署	市民生活部 健康ほけん課
担当者職・氏名	課長 池田 修二 係長 神田 弘樹
連絡先（電話）	0950-22-9125（内線 2540 ）
連絡先（FAX）	0950-22-4241
連絡先（Eメール）	kenkohoken@city.hirado.lg.jp

※本リリースは、平戸市から平戸市を担当する報道機関に、長崎大学から長崎大学記者クラブに配信しています。

【内容】

国立大学法人長崎大学と平戸市は、令和3年度から「国境を越えた地域医療支援事業」を実施するため、連携協定を締結することとなりました。

つきましては下記のとおり締結式を執り行いますのでご案内申し上げます。

記

- 日時 令和3年3月25日（木） 午後5時00分～午後5時45分
- 場所 長崎大学事務局 第3会議室（長崎市文教町1-14）
- 主な出席者 国立大学法人長崎大学 学長 河野 茂
平戸市長 黒田 成彦
平戸市民病院院長 押淵 徹
長崎大学病院長 中尾 一彦
長崎大学副学長 調 漸
国境を越えた地域医療支援機構長 有吉 紅也

4 協定内容

平戸市では長崎大学と連携し、平成17年から「平戸市地域医療人材育成事業」を実施してきました。地域医療や全人的医療に携わる医師の養成を図るため、平戸市民病院に教育の拠点を置き、過疎、へき地の医療を担う人材の育成を図り、平戸市の医師確保に努めてきました。また、令和2年度からは、国際貢献等を目指す医師について長崎大学が育成を担い、日本国内に滞在している期間の就業施設、研修施設を平戸市民病院とすることで、お互いの課題解決を図る「国際医療人育成事業」を実施しております。

令和3年度においては、この二つの事業を発展的に統合し、さらに長崎大学病院総合診療科とも協働して、「国境を越えた地域医療支援事業」として実施します。国境を越えて活躍できる国際地域医療人を育成し、平戸市民病院を拠点に展開することで、平戸市の喫緊の課題である医師の確保、地域医療の向上と長崎大学が目指す世界の健康、医療格差の是正を図るものです。

※取材を希望する報道機関は3月24日（水）までに、担当までお知らせください。

※お車でお越しになられる場合は、入構許可証を発行しますので、担当までご連絡ください。

※来場の際は、マスクを着用するなど感染拡大防止へのご協力をお願いします。

※発熱や風邪のような症状がある方は来場をご遠慮いただきますようお願いいたします。